

令和4年度 総合的な探究の時間(キャリア教育)全体計画

1 目標

○生徒一人ひとりが将来の人生設計を描き、職業観・人生観を構築するとともに、社会性やコミュニケーション能力などの「生きる力」を育てる。

2 現状・課題

○全体として協調性があり、諸問題に前向きに取り組む生徒が多い。しかしその行動は必ず能動的ではなく、指示をうけ従順に動くことによってもたらされることが多い。自らの人生設計においても傾向は同様で、主体的に行動し、さまざまな人々との交流を通して自己実現をはかることが課題である。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。

- a. 社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力・課題対応能力
- b. 自己理解・社会理解とそれを基礎とした将来設計能力
- c. コミュニケーション能力を中心とする人間関係・社会関係形成能力
- d. 社会人・職業人としての社会規範やマナー

4 内容

指導項目	指導方針（対応する項目）
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 授業をはじめ学校生活全体がキャリア学習の場と捉え、生徒にも意識させる。 イ 3年間を通しての系統的指導を行う。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 年度末に評価を行い、次年度の取組に生かす。 エ 自己理解、社会理解、社会や職業に対応できる基礎的・汎用的能力の向上に努める。＜①, ②, ④＞
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	オ 地域社会や産業界、大学等との連携を図り、その力を活用する。＜②, ③＞
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	カ 諸行事や就業体験活動と事前事後指導を通し、目標とする諸能力の向上を図り、その成果を確認する。＜①, ②, ③＞ キ 学んでいることと社会や進路とのつながりを意識させる。＜②, ④＞

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等（実施学年）
教科の授業	・言語活用、数理処理、各教科の知識等基礎学力向上を図り、さらに思考力・判断力・表現力を育成するための諸活動を取り入れる。 ・教材内容と社会や職業との関連性を意識させる指導を行う。 ・音楽科においては、特に専門技能の向上を図る。
総合的な学習の時間	・自己理解から自己の将来までを考える。また、目標達成のための情報収集・調査を行い、進路実現の準備とする。＜1～3年＞
特別活動	・部活動や生徒会活動、文化祭への参加を通しての諸能力の育成。＜1、2、3年＞ ・人間としてのあり方や生き方を考えるための講演会等の実施。＜1、2、3年＞ ・科目、講座選択。進路の研究。＜1、2、3年＞ ・小諸ふれあい総合講座Ⅰ＜1年＞、小諸ふれあい総合講座Ⅱ＜2年＞ 社会講座等＜3年＞
校外の体験活動（就業体験活動等）	・就業体験活動（全員、希望者は複数回）＜1、2年を中心＞ ・オープンキャンパス等への参加＜1、2、3年＞
地域や産業界等との連携	・小諸ふれあい総合講座Ⅰ＜1年＞ ・小諸ふれあい総合講座Ⅱ＜2年＞ ・就業体験、企業見学 ・大学等見学

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・教員アンケート、レポート、プレゼンテーション等による評価 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携 (指導の継続性)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校入学までのキャリア教育の振り返り（入学時）
校内の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア教育推進委員会」を設置する。 ・進路指導係内にキャリア教育担当を置く。学年担任団との密接な連携。全教職員で推進。
キャリアパスポートの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・Classi 等を活用し、自らの学習を見通し、振り返るとともに将来への展望をはかる。 ・教員や家族が対話的に関わることができるように配慮する。

5 学年別指導計画

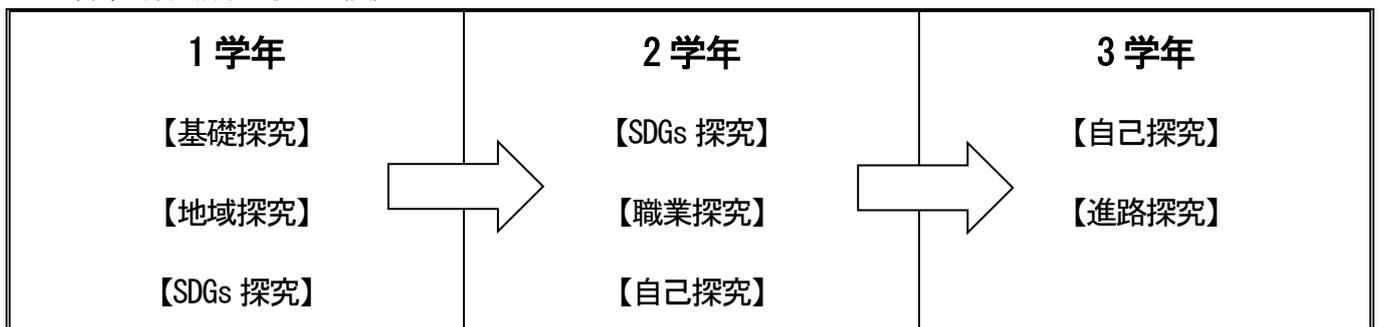
	1 年	2 年	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生活の基本確立、学習方法の習得 ○自己理解と職業についての学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己理解の深化 ○進路分野決定に向けて職業・学校調べ 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の目標・志を考えた進路目標決定 ○進路希望実現
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動、諸行事への取り組みを通しての高校生活への適応 ○小諸ふれあい総合講座Ⅰ ○就業体験活動(全員) ○自己理解に基づく次年度科目選択 ○「総合的な探究の時間」 	<ul style="list-style-type: none"> ○小諸ふれあい総合講座Ⅱ ○進路分野決定と次年度科目選択 ○「総合的な探究の時間」 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的進路目標設定と目標実現に向けての取り組み ○「総合的な探究の時間」
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・学校独自アンケート、面接 ・小諸ふれあい総合講座Ⅰレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委)・ ・学校独自アンケート、面接 ・小諸ふれあい総合講座Ⅱのレポート・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委)・ ・学校独自アンケート、面接 ・レポート(受験報告書)

「総合的な探究の時間」 通称『コモ探(こもたん)』全体計画

1. 目標

「課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現」という探究活動のプロセスを通して、実社会や実生活と自己との関わりから問いや課題を発見し、自己実現を目指しながら、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。

2. 3年間の探究活動の流れ(例)



3. 探究活動の内容

【基礎探究】

探究活動を行う上での準備段階です。3年間の探究活動を進めていく上で必要となる探究スキル(方法・手段等)を学びます。各探究活動に応じて必要な内容を学習していきます。

《活動例》

「問いをたてる練習をしよう」「当たり前と思っていることを定義する」「数理的探究」「情報収集トレーニング」「ディベートをしてみよう」「比較検証してみよう」「ソーシャルスキルを高めるために」

【地域探究】

自分の住む地域（自治体）への理解を深めます。地域課題について把握し、課題解決のためのアイデアを考え、発表&評価を行います。校外に出て、実際にインタビューしたり、内容をまとめた動画を作成したりすることもあります。

《活動例》

「地域活性化プロジェクト」「コモ探マップを作ろう」

【SDGs 探究】

SDGs の 17 の目標に対して理解を深め、現状を調査し、自分たちにできる課題解決策を探究します。SDGs の掲げる目標を身近な問題だと捉え、高校生としてできる取り組みを考えていきます。実際に解決策を実践し、その結果を検証することもあります。

《活動例》

「SDGs スゴロク」「SDGs カードゲーム」「地元の SDGs 活動」

【職業探究】

職業や仕事について理解を深めながら、探究の型に沿って課題設定を行います。実際に職場に出向いてインタビューを行うこともあります。調査した内容を職種ごと比較検証し、将来の職種選択についての考えを深めていきます。

《活動例》

「ジョブインタビュー」

【自己探究】

将来の自分の姿について、イメージを明確にしていきます。人生グラフ・マインドマップの作成をしたり、自己 PR を考えたりしながら、将来のイメージをより具現化していきます。

《活動例》

「人生グラフ・マインドマップを作成しよう」「自己 PR を考えよう」「他者への伝え方を学ぶ」

【進路探究】

卒業後の進路に向けて、各自必要な内容を探究していきます。ただ単に進路実現を目指すのではなく、今までの探究活動で得たものを活用し、よりよい進路選択を目指します。

《活動例》

「進路先を比較検証する」「自分自身をプレゼンする」「伝わりやすい面接方法を考察しよう」「志望理由書を完成させよう」

《探究活動のイメージ》

